



平成 27 年 2 月 18 日

各 位

会社名 株式会社メディネット
代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 佳司
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 宮本 宗
(TEL 045-478-0041)

(開示事項の経過)
「新規モノクローナル抗体とその用途」に関する特許が日本で成立

株式会社メディネット(以下「当社」)は、「レギュラトリーT 細胞を標的とした免疫抑制解除法の確立」に係る研究(独立行政法人 科学技術振興機構(JST)の革新技术開発研究事業)で得た新規モノクローナル抗体に関して、この度、日本で特許が成立いたしましたのでお知らせいたします。

細胞の解析技術の進歩によって、一つ一つの細胞から多くの情報を得ることが可能となってきました。しかしながら、その細胞解析には、細胞表面にある抗原とそれに対応する抗体(分子)を特定することが必要不可欠であるものの、未だ存在が確認されていない分子が多く、また、存在が確認されながらも機能が明らかでない分子も多くあると言われてしています。

当社は、当該研究により複数の抗体を取得いたしました。その中で、本抗体はBTN3という分子に対応する新規モノクローナル抗体です。BTN3 分子が様々なリンパ球に発現しており、また、リンパ球が活性化するとBTN3 分子の発現が低下することも発見したことで、それらの結果を、特許出願しております。

本モノクローナル抗体を用いることで、例えば、加工した細胞の活性化状態を確認することなども可能なことから、特定細胞加工物や細胞医療製品などの品質検査として利用することが考えられます。また今後、BTN3 分子の新たな性質をさらに明らかにすることで、研究用試薬としての販売や、細胞医療製品製造のための試薬やデバイスへの応用など、再生・細胞医療や再生医療等製品の商業化に寄与できるものと考えております。

・発明の名称: 新規モノクローナル抗体とその用途
・特許権者: 株式会社メディネット
・国際公開番号: WO0210047117A1

なお、本件は業績に与える影響が軽微であると見込んでおりますが、適時開示の必要性が生じた場合は、その内容を速やかに開示いたします。

以上

ⁱ 平成 17 年 10 月 13 日 <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=278426>
「レギュラトリーT 細胞を標的とした免疫抑制解除法の確立」について」